

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 4 年 10 月 11 日
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	11 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		9	2		11

前回の改善計画	・ 情報共有の徹底を継続し、新規利用者様の情報は事細かに残す。 その共有を全体で取り組んでいく事で、信頼関係の構築への時間の短縮に繋げる。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ 個人差はあるが、全体的にある程度達成できていたという結果となった。事前情報をしっかり把握することで、さらに細かな情報の共有に努めた。申し送り等、文章だけでは掴めない点があれば個人的に確認し、同様の事が起きた場合の対応の想定を行った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	8	2		11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	9	1		11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	6	3		11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	8	1	1	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ 利用者様と積極的にコミュニケーションを図り、状態把握等に努めた。 ・ 送迎時など、ご家族の方と接する機会には、些細な事でもご本人の様子を伝えるよう心掛けた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ 自己主張をされない利用者様とのコミュニケーション不足は今後も課題である。 ・ 会話が続き終わってしまう事が続くと、距離の詰め方がわからなくなってしまう。 ・ 職員がバタバタと忙しそうにしているのを見て、声を掛ける事ができずトイレを我慢していたと利用者様に言われた。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・ 職員側から積極的に声掛けをしていき、利用者様とのコミュニケーション不足の解消を図る。 ・ 利用者様に気を遣わせることのないよう、慌てず落ち着いて行動する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 10 月 11 日

2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）

メンバー 11 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1	7	3		11

前回の改善計画	・残存機能の十分な活用、機能訓練を行い ADL の維持・向上を目指し、利用者様の目標に幅を持たせてあげられるような支援を行っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・介助の必要性を見極めながら、できる限り利用者様ご自身で行って頂くように努めた。 ・急いでいるとどうしても利用者様自身ができることに対しても支援をしてしまっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？		6	4	1	11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？		8	3		11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？		8	2	1	11
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？		5	5	1	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者様の話の傾聴、表情観察、仕草観察等を行い、考えながら対応をしてきた。 ・在宅での生活を継続していくために何が必要かを考え、日中の活動量を増やすなどの対応を行った。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・その場しのぎの対応となってしまう事があった。 ・利用者様と関わる時間にどうしても偏りが生まれてしまう。目が離せない、自己主張が強い利用者様にかかるウエイトが重くなってしまう、全体の把握に至らない。 ・意思疎通がうまく行えず、目標としていることが全くわからない。 ・人的余裕がなく、利用者様と関わる時間を設けられない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・前回の改善計画の継続。	

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？		7	3	1	11

前回の改善計画	・利用者様それぞれに紐解きシートを作成し、利用者様から得た情報をそこに記入していく。それを職員がいつでも閲覧できるようにしておくことで、職員の入れ替わりがあっても利用者様の日常をある程度把握した上で関わっていける為の体制を整える。
前回の改善計画に対する取組み結果	・紐解きシートを利用することで新たな情報を知ることができた。新たな発見もあった。 ・紐解きシートの作成を行い記入していたが、それを続けていくことができなかった。 ・最近では閲覧できていない状況。利用者様の入れ替わりもあり、再作成をする必要もある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？		4	6	1	11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	1	9	1		11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？		6	5		11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	1	9	1		11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？		8	3		11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者様の変化に気付いた時は情報共有し、話し合うようにしている。 ・ご本人の状況に合わせ支援を行っている。体調の変化等気付いたことは報告と記録を行っている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者様とのコミュニケーションが不足しているため、わからないことが多い。 ・利用者様の全てを理解できる訳ではないという難しさを感じてしまう。 ・以前の暮らし方について把握できていない部分はある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・職員それぞれが利用者様とのコミュニケーションを積極的に図り、利用者様の事を知る努力をする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 10 月 11 日

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 11 名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		4	7		11

前回の改善計画 ・ウイルス感染対策をしっかりと行った上で、地域の方と関わる機会を設けていきたい。 短時間の外出でも、利用者様にとって良い気分転換になると思うので、安全を最優先に考えた上で外出する機会を作りたい。
前回の改善計画に対する取組み結果 ・花見には出かけることができ、皆様に喜んで頂けた。 ・敷地内の散歩、育てた野菜の収穫等、気分転換となる機会は設けられた。 ・毎週移動スーパーで買い物するのを楽しみにされていた。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		6	5		11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		5	5	1	11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		7	3	1	11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		1	6	4	11

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・送迎の際など、ご家族とお会いした時は利用者様の話を聞いたりして情報を得るようにしている。 ・普段のコミュニケーションから、家でどのように生活しているのかは把握している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・事業所が関わっていない時にどう過ごしているかわからない利用者様はいる。ご本人の話に一貫性がなかったり、ご家族の方とお会いする機会もないと、その把握をするのは非常に難しい。 ・新型コロナウイルス感染が収まらず、人と関わる機会を設けることが困難な状況が続いている。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内) ・花見・紅葉など時期が限定される場合でなければ、一度に多くの利用者様を連れ出す計画とせず、数名単位である程度長い期間で考え外出計画を立てる。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 4 年 10 月 11 日
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	11 名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？		5	4	2	11

前回の改善計画	・小規模多機能のシステムを知らない方がまだまだ多数いらっしゃるのが事実なので、その利便性について触れたパンフレットの作成の検討。
前回の改善計画に対する取組み結果	・実際に小規模多機能を利用されているご家族の方から小規模について質問を受けることもあった。それだけに、パンフレットがあると役に立つと思う反面、誤解が生じないよう細かな点にも気を付けなくてはならないという難しさを感じた。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？		5	2	4	11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？		10	1		11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか？	1	10			11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？		11			11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者様、ご家族のニーズに合わせた柔軟な支援は行えている。可能な限り急な変更にも対応できていて、柔軟性は十分に出せている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域の資源を使うという支援ができているのかわからない。 ・通いサービスにて独居の利用者様から「調子が良くないから休みたい」と連絡がある場合、事業所側とすると逆に通いサービスを利用して頂いた方が、体調の確認や緊急時対応などができるため安心できるが、無理に「通いサービス」提供も行えないという葛藤を感じる。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・利用者様、ご家族の方の状況を把握しながら、必要なサービスは何かを考える。 ・利用者様のできることを見つけ、職員間で共有する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 4 年 10 月 11 日
6. 連携・協働	メンバー	11 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？		1	3	7	11

前回の改善計画	地域のイベント等の情報を仕入れ、その予定表を作成しておく。そこから、参加・見学様々な形での外出の機会を設ける。
前回の改善計画に対する取組み結果	多くの情報を仕入れることはできなかったが、月に1度ボランティアの方々が行っている子ども食堂に利用者様と訪れ弁当を購入した。そこで食事をすることも可能という話も伺えたので、毎月数名ずつ、利用者様に外食する機会を作ってあげることが可能となる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		1	4	6	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		1	2	8	11
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		1	3	7	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		1	2	8	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
- 個人的に地域の避難訓練に参加している。 - 自治体との会議に参加はしていないが、その情報を得ることはできている。 - 毎週移動スーパーが事業所に訪れている。 - 地域包括支援センターとの連携を行い、地域で困っている方への支援介入ができた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
- まだまだイベント自体も少なく、時間・場所等多くの制限もあり、参加するのは困難。また、多くの人が集まる場所へは感染症のリスクが高まるため利用者様を連れていくことはできない。 - 地域住民の方々も今の状況で事業所を訪れようとは思えないと思う。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
- 栽培を行っている野菜を地域のボランティア団体に寄付する。 - 地域包括支援センターへ登録空き状況を知らせ、地域で困っている方がいた場合、地域のサービス事業所の1つとして、介入ができるよう関係を築いていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 4 年 10 月 11 日
7. 運営	メンバー	11 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1	5	2	3	11

前回の改善計画	事業計画の円滑な遂行を目指すため、接遇マナーの研修を定期的に行い、その大切さを全職員に周知徹底していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	毎月の内部研修は行ったが、そのほとんどに理解の差が生じてしまっている。接遇マナーについても、内容を思い出すなど意識して対応を心掛けた職員と、そうでない職員との差が大きく開いた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	1	6	2	2	11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？		8	1	2	11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？		6	2	3	11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？		2	5	4	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
- 利用者様、ご家族の方からご意見や苦情を頂戴すれば全職員に周知し、再発防止に努めた。 - より良い事業所となるように様々な提案や意見交換は十分にできている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域と協働した取り組みを行えていなかったが、事業所で栽培・収穫した野菜等を子ども食堂を開いているボランティアの方々に持っていくことができたと思う。そのように何かできることを考えて提案していきたい。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
ご家族の方々へ定期的に事業所に対するアンケートを実施し、ご家族の要望・意見などを表面化することで円滑な運営へと繋げていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 4 年 10 月 11 日
8. 質を向上するための取組み	メンバー	11 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？		5	6		11

前回の改善計画	・些細な事だと流さずに、ヒヤリハットとしてできるだけ数多く記録に残す。それを一通りまとめたものを全職員で共有し、事故防止に繋げていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・多くのヒヤリハットがあがっていて、それを再発防止策までまとめたものを共有し、再発防止に取り組んでいる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか		8	3		11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		4	5	2	11
③	地域連絡会に参加していますか			3	8	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		5	5	1	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者様の動きに対して予測できるリスクのケアを行い、予防的な対応を意識的に行っている。 ・内部研修に参加しスキルアップに繋がっている。研修内容によっては忘れてしまっている内容もあり、改めて再確認もできた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域連絡会への参加。 ・外部研修は感染症対策という観点から参加するのが難しい。 ・リスクマネジメントに対して、各職員の認識に差がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・毎月実施している内部研修に加え、必要であれば個別に研修を行い質の向上を図る。 ・リスクマネジメントについて、予防的対応を全職員が理解し、意識して取り組む。 ・多くのヒヤリハットに気付く意識を持つ。	

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1	7	3		11

前回の改善計画

- ・職員間で指摘し合うという事がやはりできていないので、何より「利用者様の為に」という意識を強く持ち、気が付いた事はその場で指摘し、各々改善していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・「利用者様の為に」不適切な対応の改善に努めようという意識はあまり感じられなかった。日常的に行われている事はそれが当たり前となってしまう、客観的に捉える事ができずにいた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	3	8			11
②	虐待は行われていない	3	8			11
③	プライバシーが守られている	6	5			11
④	必要な方に成年後見制度を活用している		3	5	3	11
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	5	2		11

できている点

200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・身体拘束、虐待には十分に気を付けていた。
- ・入浴、排泄時等どうしても離れられない状況でない時は極力距離を置くなどして、利用者様のプライバシーの保護に努めた。

できていない点

200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・言葉による身体拘束(スピーチロック)をしてしまっているのではないかと自ら感じる事があった。
- ・自分の気持ちに余裕がない時に、利用者様に対する口調が荒くなってしまった事があった。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

- ・グレーゾーンに対する意識の改革。
- ・利用者様の人権を守る為、日常的に行っているケア等を客観的に捉え、職員間で話し合いそれらが適切な対応であるか否かを見極めていく。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人清幸会	代表者	池田 香織	法人・事業所の 特徴	那須塩原市、那須町に特別養護老人ホーム（３施設）小規模多機能型施設（４事業所）グループホーム（３事業所）デイサービス（２事業所）認知症デイ（１事業所）居宅介護支援（２事業所）地域包括（１事業所）があり、利用者のニーズや身体状況に合ったサービスの提供を行うことができます。
事業所名	第２まつばら荘	管理者	菊池 里美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	１人	人	２人	人	人	１人	人	９人	人	１３人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	- 引き続き全職員が自己評価を行っていく。 - 定期的に振り返りをするための話し合う時間を設け、意識の差を埋めることに繋げていく。	- 職員全員で自己評価を行い、事業所評価を行うことができた。 - 小規模職員会議の場で話し合う事で、項目に対する内容についての共通理解をしながら、自己評価・事業所評価に取り組むことができた。 - 昨年度の自己評価・事業所評価で達成できなかったことをどうすれば達成できるのか、職員の中で検討し、取り組む姿勢があった。	- 事業所全体で課題に取り組まれていることが分かった。 - 職員が真剣に意見を交わし取り組んでいる姿が見受けられ大変素晴らしいと思う。 - 改善計画が具体的に立てられ、取り組みが行われているのが分かります。	- 引き続き全職員が自己評価を行っていく。 - 達成できなかった課題・目標にに対し、達成できる方法や取り組みなどについて職員会議で前向きに検討していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	感染症対策のため、外出や外部の方と関わる機会が確保できない場合でも、利用者様が楽しんで頂けるよう事業所内・屋外の環境を整える。	- 外出が制限されてしまっている情勢の中で、事業所内での活動時間が主となった。季節に合わせた装飾などの設えを考え、事業所内においても季節感が感じられるように取り組んだ。 - 車輦・敷地内についても業務時間の間でできる範囲での清掃を行った。 - 事業所敷地内の花壇に花や野菜を植え、鑑賞や収穫などの活動が出来た。	- 評価の結果から、しっかり取り組まれている事が分かります。 - 施設内外共に常日頃より整然と環境整備がなされていると感じています。 - この数年は感染症対策のため、中の様子は拝見できませんが、写真等を拝見し、以前から変わらず過ごしやすい環境が整っていると思います。	- 事業所内の整理整頓を徹底する。 - 職員・利用者様とが共同で事業所内の装飾を行い、楽しく事業所内のしつらえが行えるよう取り組む。

C. 事業所と地域のかかわり	・今後も利用者様の支援に係る地域資源を活用していけるよう、情報収集をしていく。	・地域で子ども食堂の開催について情報が得られたので、ご利用者様と足を運ぶことを試みた。 ・移動スーパーとくし丸を活用し、職員と一緒に買い物をしたり、普段買い物に行けない方も、安心して買い物ができる機会を確保することができた。	・包括や民生委員の方等の情報共有を引き続きよろしくお願いします。 ・コロナ禍の為、地域イベント等が中止になり残念です。コロナが落ち着いたら一緒に行事やイベントが出来たらいいです。 ・地域の行事やイベントに参加することは感染症対策を考えると困難であったと思います。その他については完璧であったと思います。	・今後も、地域資源の情報収集を継続して行い、活用できるようにする。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・感染症対策を十分に行い、安全に地域と交流できる方法を検討していく。	・行事として、地域で馴染みのある場所へお花見や紅葉ドライブ外出を計画し実施することができた。	・コロナ禍の為、地域に出向いてというのは大変難しい状況だと思います。コロナが落ち着いてからの取組になると思います。 ・介護事業所においてはまだまだ感染症対策は必須ですが、面会受入れの緩和等、状況を見ながらご検討ください。 ・感染症対策を考えると難しい課題であると思います。積極的に活動できる日が来ることを願っています。	・地域の行事やイベントが開催される場合には、感染症対策を徹底しながら参加を検討していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・感染症の状況によっては引き続き書面開催が継続されることになるが、そのメリットを生かし、様々なご意見を頂けるような書類の作成を行う。	・書面開催ではあったが、運営推進委員会の方に状況報告をし、たくさんのご意見を頂くことができた。	・書面開催ということで、毎回書類作成が大変だと思いますが、今後も継続お願いします。 ・いつもわかりやすい資料提供されています。対面での開催についても状況を見ながら検討してください。 ・地域での取組にまで視野を広げ検討を重ねるのは大変素晴らしいと思います。 ・運営推進会議を最大限に生かすための職員の努力が伝わります。 ・気になる高齢者の情報を共有をしていただけるとありがたい。	・感染症の流行状況を考慮しながら、対面での開催について、実施できるようにする。対面開催が再開した際には、事業所内の様子や雰囲気を見ていただく。

F. 事業所の
防災・災害対策

- ・地域の防災組織と関係が途切れないよう、連絡することを継続していく。

- ・今年度は地域の防災組織との連携が図れなかった。

- ・事業所の防災・災害対策では「わからない」との回答が多くあり、取り組みに関する情報の発信を工夫して頂きたい。
- ・今年度は松原町自治会も防災訓練等、行いませんでした。コロナが落ち着いたら自治会合同で何か取り組めると良いです。
- ・来年度末にはBCPの作成が求められますので、ご準備をお願いします。
- ・ご利用されている方々を交えた防災訓練は大変困難であるとは思いますが、常に意識を高めていくことはとても大切な事だと思います。
- ・事業所の防災訓練に参加された事のない方が見受けられますが、お忙しい中でも少しずつ参加される方が増えると良いと思います。

- ・災害発生時のBCP策定を行い、令和6年度からの運用ができるよう、訓練や研修の機会を確保する。
- ・地域の防災組織との連携が図れるよう、事業所の防災訓練などの情報をお伝えしていく。